

## マガンの追い払い

毎年春になると宮島沼周辺にやってくる数万羽のマガン。美しい美唄の自然を象徴するマガンの姿は多くの観光客を楽しませてくれますが、同時に周辺の農地では小麦の新芽が食べられてしまう被害が発生してしまいます。そのため、マガンの飛来期間に合わせて、小麦畑の見回り調査を実施し、必要に応じて畑からの追い払いを行いました。



## エゾシカの捕獲

道民にとって身近な存在のエゾシカは、春から秋までの長期に渡って田んぼや畑に出没し、小麦や大豆、ビートなどの食害や、農作物の踏み倒しなど、様々な被害をもたらします。近年生息数が増えるにつれて、農林業被害も深刻化しています。私は狩猟免許を取得して捕獲の技術を磨きながら、ジビエ専門の食肉処理施設と連携して、美唄市の特産品としてエゾシカ肉を普及する取り組みを行っています。



## ヒグマの対応

去年は全国的に熊の出没が相次ぎましたが、美唄市内でも通報があったものだけで30件以上の出没事案が発生しました。通常は森で暮らしていて私たちの目に触れることも少ないヒグマですが、山でのエサ不足などが原因で住宅地へ現れてしまうこともあり、人間に危険が及ぶことも考えられます。私はヒグマ出没時に、市役所、警察、猟友会と連携して現地調査や注意喚起、目撃地域でのパトロールなどの対応を実施しました。



## 活動報告 | 二木康介

美唄市地域おこし協力隊

美唄市は夕張山地から続く森林地帯と、日本屈指の大きさを誇る石狩川に挟まれ、その自然豊かな環境にはエゾシカやヒグマ、キツネをはじめとした多様な野生動物が生息しています。一方でそうした動物たちによる被害も少なくなく、基幹産業である農業や、私たちの生活環境を守るために、様々な対策が求められています。

## ジビエを活用した地域振興

農林業被害防止のために駆除された動物の多くが廃棄されてしまっている現状がある中で、少しでも命を無駄にすることなく、地域資源として持続的に活用する取り組みとして、2022年11月に美唄市にオープンした食肉処理施設では、エゾシカを中心にヒグマ、アライグマなどの捕獲個体を、ジビエ肉に加工し販売しています。野生動物による被害軽減や、これからの美唄の地域振興を担う事業として、多くの事を学ばせていただきながら、同時にエゾシカの解体や商品開発などの活動で協力させていただいております。

## アライグマの回収サポート

外来種であり繁殖能力が高いアライグマは道内で徐々に生息域を広げていて、市内でも近年多くの農作物被害などが確認されています。美唄市では農家や住民に箱罠を貸し出し、積極的な捕獲を行っており、私も捕獲個体の回収作業のサポートなどに携わりました。



## 美唄ジビエのPR

国や道の認証を受けたジビエの食肉処理施設で作られた美唄のジビエは、肉質や安全性のレベルが高く、とても美味しいグルメです。美唄の新しい名物として愛していただけよう、様々なイベントなどでご紹介させていただきました。

